

登米の力 とめのちから 登米の地から

社会人キャリア講話事前研修会を実施しました！

地方振興部

登米市内の高校生が社会人から仕事に関する話を聞き、働くことについて考える「キャリア講話」（宮城県登米高等学校主催）の開催にあたり、社会人講師向けの事前研修会を9月17日（金）に開催しました。この事前研修会は、社会人が自身の仕事や人生について振り返りながら高校生に伝えたい経験やメッセージを考えるとともに地域の社会人同士の交流を図るもので、昨年度から県が実施しています。

今年度の研修はオンラインで開催し、講師には石巻地域でキャリア教育事業に取り組む一般社団法人ISHINOMAKI2.0の齊藤誠太郎氏と吉川結衣氏をお招きしました。参加者はカメラ越しに、仕事

での達成感や人生のターニングポイントなどを発表したり、1対1で講話のアドバイスを出し合ったりと、オンラインでも充実した研修会となりました。

今後も学校等と連携しながら、高校生や社会人のキャリア発達や地元定着に向けた取組を行ってまいります。



“登米産” 今年もやっぱり美味しい 新米ササニシキ&完熟りんごフェアを開催します

地方振興部

登米市の秋の味覚を楽しむ「極上の味わい～登米産ササニシキごはんの日」フェアと「登米産りんご使っています」フェアを今年も開催します。

あっさりとした上品な味で根強い人気がある「ササニシキ」と、樹上で完熟させた「りんご」を登米市内の飲食店や菓子店で味わってみませんか。

【登米産ササニシキごはんの日】

開催期間：10月8日（金）～11月30日（火）
新米ササニシキを使ったお寿司、おにぎりなどの提供

【登米産りんご使っています】

開催期間：10月8日（金）～12月31日（金）
完熟りんごを使ったスイーツ、パンなどの提供

★参加店舗など、詳しくはホームページをご覧ください

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-tmsgsin-e/sasaringo0310.html>



加工用ばれいしょの生産拡大に向けて

農業振興部

ばれいしょ栽培は、植付から収穫まで機械化体系が確立されており、水田のほ場整備が進む宮城県では、露地野菜の品目として注目が高まっています。

県内各地で作付け拡大する中、登米地域でも、契約栽培によるポテトチップス向けの加工用ばれいしょの生産拡大が進められてきました。今年の

5月にはJAみやぎ登米の生産者7名が参加し、「登米ぽてと組合」が設立され、更なる生産性の向上や生産拡大が期待されているところです。

農業振興部では、関係機関と連携しながら、各種事業の活用や土づくり、肥培管理などのばれいしょ栽培技術の指導を行い、さらなる産地拡大を支援していきます。



植付作業



収穫作業

家畜排せつ物の適正管理に関する調査について

東部家畜保健衛生所

「家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律（以下：法）」が平成16年に本格施行となってから、法の管理基準が適用※になる農場には堆肥舎を設けるなどの対策をいただいているところです。

しかし、堆肥舎等の経年劣化が進んでいることや、県内の養鶏農家2戸が大量の排せつ物を不適切に処理していた事案、畜産経営に起因する苦情等が発生していることなどから、家畜排せつ物処理の状況、適正管理を確認するため立入調査を実施しています。

立入調査は、令和3年から令和5年にかけて法の適用となる全農場を対象にして、年度毎に調査地域を分け、登米市や登米農業改良普及センターなどの関係機関と連携して実施していきます。令和3年の調査地域は、牛：中田町・米山町、豚：迫町・登米町です。

※：牛10頭以上、豚100頭以上、鶏2,000羽以上、馬10頭以上を飼養する農場



立入り調査の様子

令和3年度林業教室「林業基礎講座」研修を開催！

林業振興部

東部地方振興事務所と合同で、令和3年度林業教室の受講生を対象に、林業の知識や技術に関する基礎的な研修を企画・実施しました。

午前の座学では、コンパス測量に関して、測量器具の使用方法を学んだほか、実測データを基に作図の体験をしました。また、間伐や森林病虫獣害の基礎知識について学びました。

午後は、林道「女川京ヶ森線」沿いの石巻市有林において、ポケットコンパスを用いた測量やワイザー測高器を用いた樹高計測の実習を行いました。また、東部管内と登米管内に共通する課題である二ホンジカ被害地における再造林の推進について、二ホンジカ対策（防鹿柵）の実施状況を確認し、効果や課題等について情報共有しました。



ポケットコンパスを用いた測量実習



二ホンジカ対策（防鹿柵）実施箇所の確認

＜東部地方振興事務所登米地域事務所登米地域事務所からのお知らせ＞

公式SNS(インスタグラムとツイッター)「ほっとめーしょん」が11月11日に🎉1周年を迎えます。

10月は、これからスタートするササニシキ&りんごフェアの参加店舗の紹介や紅葉、登米のおいしい食べ物などを投稿する予定です♪

2年目も登米地域のほっとな話題をたくさん投稿していきますので、ぜひチェック&フォローしてください！

▼▼▼フォローはこちらのQRコードから▼▼▼



Instagram



Twitter

PC・スマートフォンの方はアイコンをクリック



特定家畜伝染病の発生時における防疫演習について

農業農村整備部

8月25日（月）に、宮城県建設業協会(以下「協会」と略)登米支部と登米地域事務所主催による「特定家畜伝染病の発生時における防疫演習」を開催しました。この演習は、豚熱等の特定家畜伝染病の発生時に円滑な埋却作業を行う目的で、平成29年度から開催しており、今年で5回目となりますが、今年初めて夏場を開催しました。

演習は、登米市東和町の(株)日進運輸建設様の社用地を会場として行われ、登米地域事務所職員、協会登米支部事務局及び会員19社のほか、協会他支部関係者26名、登米市、JAみやぎ登米、(一財)宮城県畜産協会など89名が参加しました。

演習では、登米地域事務所職員から、防護服の正しい着脱方法、消石灰による埋却溝の消毒手順、重機を使った患畜の埋却方法など一連の流れを説明し、参加者は各項目を確認しながら訓練を行いました。

また情報提供として、立体ジオセル工法(国土交通省新技術提供システム)による盛土方式の埋却方法説明及びクーラーテントの紹介が行われました。

立体ジオセル工法による盛土方式の埋却方法とは、埋却地が岩盤で掘削できなかつたり、掘削ができて湧水により埋却ができない場合、地上盛土により埋却を可能にする方法です。

クーラーテントは、真夏時を想定して熱中症対策として開発された製品で、実際に中へ入った方々の感想として、「部屋の中にいるのと変わらないほど涼しかった。」とのことでした。

登米地域事務所では、特定家畜伝染病が発生した場合、埋却作業が迅速かつ円滑に行えるよう、今後も協会登米支部を始め各関係機関と連携協力して対応してまいります。



防護服着衣演習の様子



埋却演習の様子



立体ジオセル工法盛土方式モデル



クーラーテントモデル

令和3年10月発行/宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所（地方振興部）
〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字西佐沼150-5
TEL:0220-22-6123 FAX:0220-22-7522